

## 2014年度 こひつじ診療所 事業計画

小回りのきく精神科・心療内科中心の診療所として、地域に密着しつつ特色のある福祉医療活動を、ひき続き実践、展開していく。

### 1. 児童精神科、発達障がい者にも対応できる精神科、心療内科として診療活動を続けていく。

看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、教師、受付・事務職員たちと共に、前年に続いて午前8時より開始して、18時前後まで、40分ほどの昼休みを除いて、診察を続けていくことになると思われる。水曜、金曜日には1日、50～80名来院するが、初診診察には60分程度を確保するように努めていきたい。特に火曜、木曜発日午前は児童の初診として半日で3名ずつ時間をかけて診察していく。中東遠地域に精神科診療所が少ないため、これからも成人の受診も減少しないと思われる。また浜松や静岡の地域の専門の児童外来をもつ他医療機関の多くが、15～18歳を上限に診察を打ち切りしているなかで、これら思春期以降のいわゆる困難な事例の紹介ケースの受け皿として、当院の役割がより大きくなっている。今年度も、初診時になるべく丁寧にみて、必要なケースはフォローし、成長を見守っていくように心がけたい。

精神保健指定医として、静岡県中東遠での救急精神医療にて措置診察が必要な患者のために輪番当番にひき続き参加していく。今年度も、通院患者が時間外や休日に、電話による相談が可能なように、患者にあらかじめ知らせた上で、常に携帯電話で対応できるようにしていく。

看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、教員、事務・受け付け職員との連携をひき続き大切にしていける。院長が診察に専念する中で、常勤の看護師と精神保健福祉士が電話も含めて、診察以外での当事者たちとの関わりや対応がより大きな役割を担いつつある中で、昨年より新たに加わった受付、予約業務、診察補助を含めた事務職の役割を模索していく。デイケア空間を「居場所」として生かし、30年勤めた教師に、小中学生のプレイ、個別面談や学習指導をして頂き、子どもたちにより丁寧に関わることが可能となり、その枠を2014年1月より週2日から3日に増やした。診療スタッフ以外に、背後から「まきばの家」のスタッフたちとの協力が得られていること、さらに、豊かな自然環境、動物たち（待合室、診察室の前に羊たちが放牧されている。受診後に当事者たちに牧場への散策も勧めている。）が備えられていることに感謝しながら、この1年も歩みたい。

### 2. 先のことを見通しながら、「ディアコニア」「まきばの家」「こどもの家」により連携するためのあり方について模索していく。

「こどもの家」「まきばの家」で必要とされる児の診察、フォローをひき続きおこなっていく。「ディアコニア」の入所者も必要な方の診察をおこない、各施設スタッフの相談にも応じていく。今年度も「まきばの家」の症例検討会（児童相談所の職員なども参加）に、診療所スタッフたちも可能な限り参加していく。「まきばの家」以外の児童養護施設、自立援助ホーム、乳児院、自立支援施設、情緒短期施設などとの交流も「まきばの家」の職員と共に深めていく。

牧場部門のデンマーク牧場福祉会の営みに、通院している当事者たちもが、何らかの参画ができないか将来のあり方について模索していく。

3. ひき続き比較的小規模な地域（袋井市とその周辺地域）において、福祉・教育・医療連携の可能性を、特に養護が必要な発達障がいなどの子どもたちを中心に見据えながら模索していく。

掛川市の特別支援教育支援チームの委員長を今年度も務める予定である。

静岡県西部の就学指導委員会と袋井市の就学指導委員会の委員も継続していく。

今年度も袋井市のしあわせ推進課、教育委員会、保健センターが、横断的包括的に連携する、子どもの事例検討会に参加する（6回）。

2010年4月より、袋井特別支援学校磐田分校の精神科医師として校医を勤めているが、ひき続き、袋井特別支援学校の全体に在籍する子どもたちのために教師からの相談にも応じていく。

2007年10月に委員長として提言した、袋井市の早期療育施設の開設について、袋井市がその一歩として並行通園施設「はぐくみ」を2010年5月より開設しているが、定期通園を含めた早期療育システムの構築が図られようとしている。そのために必要な協力を続けていく。

各地域の児童相談所の職員との協力関係をより深めていく。

4. 日本キリスト者医科連盟静岡部会（武井が部会長、柴田恵子氏、金高美江子氏が会員）の例会を、ひき続き、可能な範囲でデンマーク牧場福祉会と共催し、今年度は3回程度、土曜日の午後、「まきばの家」を会場にして講演会を開催していく。現時点での予定は以下の通り。デンマーク牧場福祉会の職員の研修の場として用いていく。

5月24日 入佐 明美 氏 （釜ヶ崎にて、ボランティアケースワーカー）

10月11日 白井 徳満・幸子 氏

5. 以下の日時、場所で、講演をさせて頂く予定である。診療所のみならず、デンマーク牧場福祉会全体の営みについて報告し、何よりもよき働き人を求めていきたい。

4月23日 ルーテル学院大学にて、新入生を対象に講演（クネーテン講演会）

6月15日 内村鑑三記念講演会（沖縄・宜野湾）

7月20日 みのもり教会（豊橋市）

9月21日 高蔵寺教会

11月16日 富士教会